

## 《情報公開文書》

ESBL (Extended-spectrum  $\beta$ -lactamase) 産生菌菌血症に対するカルバペネム系抗菌薬と非カルバペネム系抗菌薬の有効性についての検討

## 研究の概要

## 【背景】

ESBL (Extended-Spectrum  $\beta$ -lactamase : 基質特異性拡張型 $\beta$ ラクタマーゼ) 産生菌は薬剤耐性菌の一種です。ペニシリン系抗菌薬やセファロスポリン系抗菌薬など、感染症治療で用いられることが多い抗菌薬では効果が乏しく、接触感染で広まるため院内感染対策上も重要な薬剤耐性菌です。ESBL 産生菌感染症の治療ではカルバペネム系抗菌薬が第一選択薬とされていますが、広い範囲の細菌に対して効果のある広域抗菌薬のため、新たな薬剤耐性菌検出の原因となる可能性があります。ピペラシリン・タゾバクタム、セフメタゾールといった非カルバペネム系抗菌薬が有効であるという報告もあり、カルバペネム系抗菌薬以外の選択肢として臨床現場でも用いられています。本研究では血液から ESBL 産生菌が検出された患者さんがどのような抗菌薬で治療されたかを調査し、カルバペネム系抗菌薬と非カルバペネム系抗菌薬の有効性について検討します。

## 【目的】

本研究の目的は、血液の培養検査で ESBL 産生菌が検出された方のうち、どのような患者さんであればカルバペネム系抗菌薬を使用せずに治療可能であるか明らかにすることです。

## 【意義】

非カルバペネム系抗菌薬で治療可能な患者集団が明らかになれば、広域抗菌薬であるカルバペネム系抗菌薬の使用量減少につながります。これにより、患者さん個人および病院・地域での薬剤耐性菌出現の抑制が期待できます。

## 【方法】

2018年1月1日から2023年12月31日までの6年間に長崎大学病院で血液培養が採取され、ESBL 産生菌が検出された18歳以上の患者を対象に、電子カルテ記録を参照し情報を収集します。

## 対象となる患者さん

2018年1月から2023年12月の期間に長崎大学病院に入院した18歳以上の患者さんで、血液から ESBL 産生菌が検出され、抗菌薬で治療された方が対象になります。

## 研究に用いる情報

## ●研究に用いる情報

本研究は通常診療で得たカルテ情報を用いて実施する研究です。

患者さんの背景 (年齢、性別、入院期間、退院日、基礎疾患、感染症診断など)、症状、検査結果、微生物検査などの臨床検査情報、血液培養採取28日後までの治療経過について情報を収集

します。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 情報の利用開始予定日

本研究は2024年2月20日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

### 研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 感染症医療人育成センター

氏名：井手 昇太郎

住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1

電話：095 (819) 7506

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

#### 【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 感染症医療人育成センター 井手 昇太郎（研究責任者）

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095 (819) 7506 FAX 095 (819) 7507

#### 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）